

年度初めの感染症対策のお願い

～福島県新型コロナウイルス重点対策について～

県内では、2月中旬以降、クラスター（患者集団）の発生により感染者が急増し、再び病床がひっ迫しています。このため、4月以降もクラスターの未然防止にポイントを絞った重点的な対策を行うことになりました。

以下のとおり、村民の皆様のご協力をお願いいたします。

◆地域の感染状況や感染リスクが高まる「5つの場面」を十分意識し、慎重に行動すること。（裏面をご覧ください）

- 場面① 飲食を伴う懇親会等
- 場面② 大人数や長時間に及ぶ飲食
- 場面③ マスクなしでの会話
- 場面④ 狭い空間での共同生活
- 場面⑤ 勤務中の休憩時間など、居場所の切り替わり

◆緊急事態措置が解除された1都3県をはじめ、宮城県、山形県、大阪府・兵庫県などの感染拡大地域との不要不急の往来は控えること。

- ※1都3県：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
- ※まん延防止適用地域への往来
- ※不要不急の往来の例：帰省や旅行

◆感染対策が徹底されていない接待を伴う飲食店及び酒類の提供を行う飲食店等の利用を控えること。

◆大人数での飲食を伴う歓迎会やお花見は控えること。

◇期間 4月1日（木）～5月9日（日）まで（県の重点対策期間）



やむを得ない理由で感染拡大地域へ 往来される方・家族等が来られる方へ

- ① 往来後、少なくとも1週間はできる限り体調を良く観察してください。
- ② 人と会う場合は、マスクを着用して、距離を保ち、短時間で済ませるなど感染対策を十分に行ってください。
- ③ 風邪等の症状がある場合は無理をせず会社や学校を休んでください。
- ④ 症状が出ても花粉症と思い込まず早めに医療機関を受診してください。（診療所では引き続き発熱外来診療を設けております。）

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



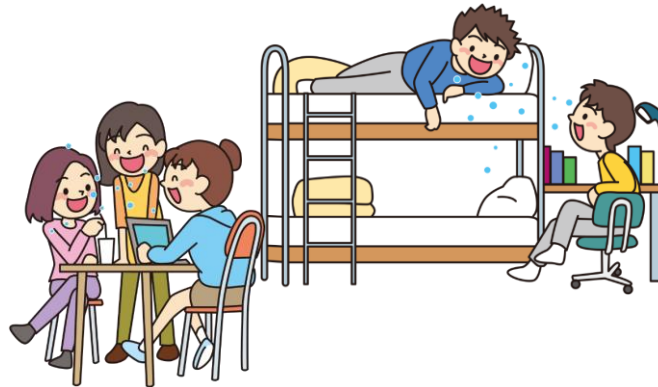
場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

